

校種【A-1 小学校】

扱う人権課題	インターネットによる人権侵害
授業タイトル	インターネットのルールやマナー、知っていますか？
育てたい 資質・能力	インターネットの特性から、写真などの情報を安易に出すと起こる問題点を理解する。(知性) 相手の気持ちや立場になって考え、問題を解決しようとすることができる。(実践力)
準備物	情報処理推進機構 (IPA) によるホームページ「ネット社会の歩き方」、ワークシート

時間 (分)	活 動 内 容	指導上の留意点 ▼指導上の配慮事項
導入 5	1 アイスブレイキングを行い、雰囲気作りをする。 バースデーライン ・言葉を発せず、誕生日順に1列に並ぶ。 ・正しく並んでいるかどうかを確認する。 ・並んだ列を基に、順番に5～6人のグループをつくる。	▼誕生日順のグループを確認しておき、メンバー構成を配慮しなければいけないときはグループ作成の仕方を工夫する。
展 30	2 教材ムービー「ネットいじめは人権侵害」を見る。 3 ツバサさん、タクミさん2人の行動の問題点を考える。(ワークシート) 4 ネットに写真などの情報が出てしまうと、どんな問題が起きるか考える。(ワークシート) 個人 ↓ グループ ↓ 一斉 (発表)	・何が問題なのか考えながら見るように伝える。 ・写真を撮った人だけでなく、それを広めた人にも問題があることに気付かせる。 ・ネットいじめの被害者になったときの心情について考えるように促す。 ・情報が不特定多数の人に流出すること、他人に二次利用されることなどのネットの特性を抑える。 ・動画の後半を視聴し、ルールを確認する。
開	5 インターネットを正しく使うためにはどのようなことを気をつけたらよいか話し合い、発表する。 グループ ↓ 一斉 (発表)	・インターネットの向こう側には私たちと同じ人間がいることを常に忘れず利用するよう助言する。
まとめ 10	6 振り返りをし、これから実践していきたいことを考える。(ワークシート) 個人 ↓ 一斉 (発表)	・これからどんなことに注意して携帯電話やネットを利用していききたいか考えるように促し、実践に向けての意欲を高めるようにする。

インターネットのルールやマナー、知っていますか？

問題1

ツバサさんの行動の問題点は、何だと思いますか。

①

②

タクミさんの行動の問題点は、何だと思いますか。

①

②

問題2

ネットに写真などの情報が出てしまうとどんな問題が起きると思いますか。

①

②

ふりかえり

*これからどんなことに注意して携帯電話やネットを利用していきますか。

校種【 A—2 中学校 】

扱う人権課題	外国人
授業タイトル	東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界中のすべての人が意味を理解できるピクトグラムを作ろう
育てたい資質・能力	異なる言語・文化を持つ人々とのコミュニケーションについて、相手の立場に立って考える。(実践力)
準備物	A3版用紙、色マジック、「知ってる？外国人と人権」(2019年3月 栃木県県民生活部人権・青少年男女参画課人権施策推進室作成リーフレット)

時間(分)	活動内容	指導上の留意点 ▼指導上の配慮事項
導入 5	1 ピクトグラム当てゲームを行う ・東京オリンピックのピクトグラムを当てる。 野球 バasketボール バドミントン 陸上競技 ゴルフ	・親和的な雰囲気になるように心がける。 ・どのピクトグラムもわかりやすいデザインであることにふれる。
展開 30	2 外国語で何と書いてあるのか予想する。 ・黒板に貼られたカードに何と書いてあるのか予想し、発表する。 ・教師の説話を聞く。 3 本時のテーマを確認する。 東京オリンピック・パラリンピックに向けてデザインを工夫して世界中のすべての人が意味を理解できるピクトグラムを作ろう	・黒板に3カ国語(韓国語、ベトナム語、ポルトガル語)で「止まれ」と書かれたカードを表示し予想させる。 ・「止まれ」と書いてあるということとそれぞれどこの国の言語なのかを生徒に示す。 ・「知ってる？外国人と人権」を配布し、日本語の読み書きやコミュニケーションの点で生活上の困難を抱えている人がいることにふれる。 ・言語のほかにもヘイトスピーチ等外国人の人権問題が存在することにも触れる。 ▼外国籍の生徒がいる場合は本資料の取り扱い方を工夫する。
まとめ 15	4 標識を考える ・「最後尾」「ポイ捨て禁止」「立ち入り禁止」「充電コーナー」「満員御礼」の中から、グループでひとつ選び、標識を考えて発表する。 ①グループでテーマを決める。 ②個人で考える。 ③②をもとにグループとしての考えを練り上げる。 ④代表者が発表する。 5 ふりかえり ・他のグループの発表も踏まえ、どのような工夫や配慮がよかったと思うか考えを発表する。 ・教師の説話を聞く。	・数字はよいが文字は使わないように指示をする。 ▼机間指導を行い、巧拙関係なくどのような作品も受け入れる雰囲気になるように配慮する。 ・グループとしてデザインのどのような点を工夫したのか説明させる。 ・単にデザインの工夫だけではなく、どのような話し合いの結果作品を制作したのかも説明させるようにする。 ・多くの意見を共有できるようにする。 ・必要に応じて生徒と問答し、考えが深められるようにする。 ・国籍・民族に関係なく、相手の立場に立って考え行動できるように話をする。

校種【 A-3 高等学校① 】

扱う人権課題	外国人に対する人権問題
授業タイトル	国際社会にアイデアを。
育てたい 資質・能力	・互いの人権を尊重し合う人間関係を築くための社会的な技能 ・人権に関わる様々な問題を主体的に解決し、人権尊重の社会を築いていこうとする実践力
準備物	筆記用具、ワークシート

時間 (分)	活動内容	指導上の留意点 ▼指導上の配慮事項
導入 10	① 動物をグルーピングする。 ・様々な動物の名前を見て、グルーピングする。 ・どのように分けたか、また、その理由を発表する。 ・固定観念にとらわれず、発想を転換して行動することを学ぶ。	・ワークシートを用いる。 ▼私たちが無意識に固定観念を持って差別しているということを自覚させる活動だということに気づかれないようにする。 ・どんな基準で分類しても良いことを伝える。 ・様々なグルーピングが発表された後、そもそも「生き物」というカテゴリーで全てを一つにまとめることができることを伝え、無意識の固定観念が差別を生む要因の一つであることを気づかせる。 ・同じような固定観念を人間にも向けている可能性を伝え、本題へとつなぐ。
展開 30	② 本県の外国人住民数を学ぶ。 ・県内では 40,659 人 (平 30.12.31 現在)、宇都宮市では 9,530 人 (平 30.12.31 現在) で、増加傾向にあることを学ぶ。 ③国内における外国人に対する人権侵害事案を通して解決策を考える。 ・日本のビジネスホテルで外国人が宿泊を拒否された事案を用いる。 ・問題が起きてしまった原因をグループで考える。 ・数人が発表する。その内のいくつかに焦点を当てて、それらの解決策をグループで話し合う。 ・数人が発表する。	・ワークシートを用いる。 ・外国人が身近に生活していることに気づかせ、その分だけ様々な問題も起こることを伝え、次の活動へとつなげる。 ・プライバシーの問題があるため、法務省 HP で公開されている事案を用いる。 ・グループは 4~5 人制。 ▼「差別は良くない」という感想で終わりにせず、どうして起こってしまったのかまで考えることが大切である、ということを伝えてから、活動を始めさせる。 ・同じ場所で共に宿泊できるためにはどうすれば良いかを考えさせる。
まとめ 10	⑤まとめる。 ・「自分とは違う人」と「同じ場所」で共生するためにはどうすれば良いかを考える。	▼発想を転換させて行動するのは「自分」であるという自覚を持たせるように伝える。

「国際社会にアイデアを。」ワークシート①

【考えてみよう！】下に並んでいる動物を自由にグルーピングしてみましょう。

人間 犬 猫 馬 牛 マグロ カワセミ
マントヒヒ テントウムシ シマウマ ライオン うさぎ ツバメ
鯉 鷺 狼 虎
鷹 シャケ フラミンゴ セミ カラス
ヘラクレスオオカブト パンダ

・・・他にもグルーピングの方法はあるでしょうか・・・？

(ここまでが1枚目)

「国際社会にアイデアを。」ワークシート②

○栃木県の外国人住民数（栃木県 HP より）

- ・県内の外国人住民数 40,659 人（平成 30 年 12 月 31 日現在）。
- ・宇都宮市内の外国人住民数 9,530 人（平成 30 年 12 月 31 日現在）で、県内第一位。
→次いで、小山市、足利市、栃木市、真岡市となっており、いずれも前年より増加している。

○日本国内における外国人に対する人権侵害事案

事案例「ビジネスホテルに電話で宿泊の予約をしようとしたところ、外国人であることを理由に宿泊を拒否された」
（法務省 HP より）

【考えてみよう！】なぜ、宿泊施設の方々は宿泊を拒否したのでしょうか。要因を書いてみよう。

【考えてみよう！】その要因に対する解決策を書いてみよう。

○最後に

【考えてみよう！】「自分とは違う人」と「同じ場所」で共生するためにはどうしたら良いか、書いてみよう。

(ここまでが2枚目)

校種【 A-3 高等学校② 】

扱う人権課題	インターネットにおける人権侵害
授業タイトル	SNS、なぜ攻撃的に？
育てたい 資質・能力	人権の大切さや人権に関わる様々な問題を正しく認識できる知性 互いの人権を尊重し合う人間関係を築くための社会的な技能
準備物	ワークシート

時間(分)	活動内容	指導上の留意点 ▼指導上の配慮事項
導入 15	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでワークシート①最後通牒ゲームを行う。 ・ペアでワークシート②独裁者ゲームを行う。 ・2つのゲームで結果に違いが生じた理由を考えてワークシート③に記入する。 ・4人組を作り、グループで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後通牒ゲームでは、配分の割合が5：5や6：4など公平になる傾向があることを伝える。(相手への思いやり、拒否されるリスク回避) ・独裁者ゲームでは、配分の割合が9：1など不公平になる傾向があることを伝える。 ・2つのゲームの結果から、人間が利己的な行動をとりやすいことを理解させる。 <p>【予想される回答】 相手の反応があるか、自分に影響があるかなど</p>
展開 25	<ul style="list-style-type: none"> ・2つのゲームで違いが生じたように、相手の反応によって行動が変わってしまうケースが身の回りにないか考える。 ・インターネット、SNS等における人権侵害について自分が体験したことや知っていることをグループで共有する。 ・今後インターネット、SNS等を利用する際に気をつけることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中でも起こりうることを伝え、(陰口など)インターネット、SNSの問題を連想させる。 <p>▼自分のことを話したくない場合は、話さなくてよいと伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットにおける炎上事例がないか問いかける。 ・人間は相手の反応が見えないと、思いやりがなくなりやすいことや、相手が必ず存在していることを認識させる。
まとめ 10	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、インターネット、SNS等で人権侵害を受けた際にどのように対応するか理解する。 ・授業の振り返りを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誹謗中傷などが犯罪であり、人権侵害が許されないことを伝える。 ・相談することで被害の拡大を防ぐことができることや、相談すべき機関を紹介する。

あなたならどう分けますか？

前提：あなたは10,000円を与えられます。0円～10,000円の間で決めてください。
ただし、相談をして決めてはいけません。
※相手とはこのゲームで初めて知り合い、今後関わることもないものとする。

- ①あなたが決めた金額に相手が同意した場合は、お金を受け取ることができます。
しかし、相手が拒否した場合はどちらもお金をもらうことができません。

あなたの提案	自分： 円	相手： 円	相手の判断	同意 / 拒否
相手の提案	自分： 円	相手： 円	あなたの判断	同意 / 拒否

メモ
なぜその金額に？ なぜ同意？ なぜ拒否？ など

- ②あなたが決めた金額通りにお金を受け取ることができ、相手は拒否することができません。

あなたの提案	自分： 円	相手： 円
相手の提案	自分： 円	相手： 円

メモ
なぜその金額に？

- ③①と②で結果に違いが生じたのはなぜだろう？

<振り返り>

校種【 A-3 高等学校③ 】

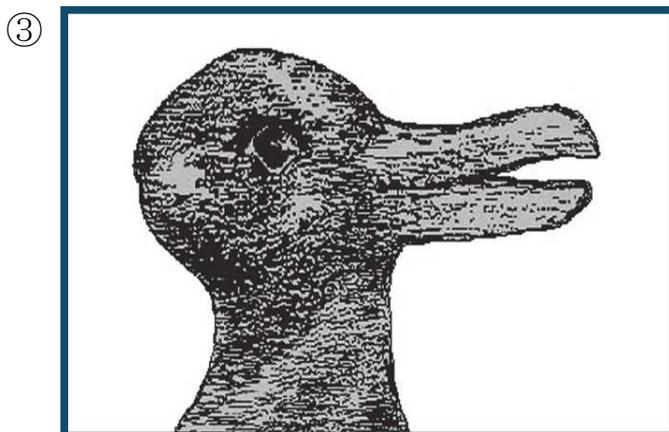
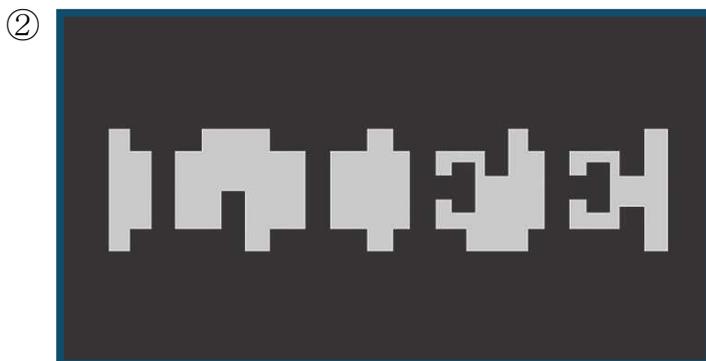
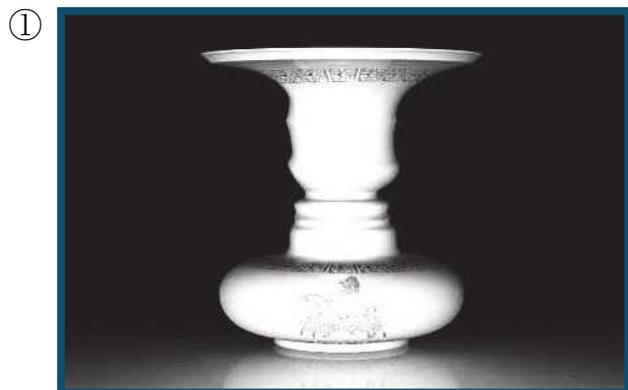
扱う人権課題	人権一般（見方や感じ方の違い）
授業タイトル	感じ方って、人それぞれ
育てたい 資質・能力	物事をどう知覚するかは、人によって違うことを理解する。知覚の違いを認識したうえで、人権を尊重する人間関係を築くためには、どのように他者と接すればよいか、どのように対処したらよいか考えることができる。[技能]
準備物	ワークシート

時間（分）	活 動 内 容	指導上の留意点 ▼指導上の配慮事項
導入 10	<p>ワーク1「何に見えるかな？」</p> <ol style="list-style-type: none"> ワークシート1の1～3の図がどのように見えるか、まずは個人で考え、グループで意見交換をする。 1について全体で発表し、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループ6、7名とする。 <p>【見え方】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2人が向かい合っている様子と壺 2. 黒い部分に着目するとLIFEの文字が見える 3. うさぎと鳥
展 開 35	<p>ワーク2「対立を激化させる言動」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループ内で2人一組になって、事例の読み合わせをする。 2. 怒りの感情が高くなる箇所にアンダーラインを引き対立を激化させる要因の①～⑥のどの要因にあてはまるか考える。 3. アンダーラインを引いた部分とその要因をグループ内で発表する。 4. 発表を通して、怒りの感情が高くなる箇所について、気づいたことや感じたことをワークシートに書く。 5. グループ内で出た意見について全体で話しあい、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人はA君役、もう一人はB君役に決める。 ▼3人の場合は、B君を2分する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分とは異なる意見であっても、否定せずに、なぜそのように考えたのか、グループ内で話し合うようにする。人それぞれ、怒りの感情が高くなる箇所や、感じ方が異なることに気づかせる。 ・グループの代表者を決め、発表させる。
ま と め 5	<p>ふりかえりシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この授業を通して、気づいたことを記入する。 2. これからの生活に、生かせることがあったら記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して生徒から出された意見などをともに、ねらいをおさえまとめる。

ワークシート

()年()番 氏名()

ワーク1 次の1～3の図を見て、それぞれどのように見えるかグループで意見を出し合しましょう。



<参考資料など>

「イリュージョンフォーラム」NTTコミュニケーション科学

ワーク2

事例 Aさんは自分のニンテンドースイッチ本体が壊れたため、Bさんにニンテンドースイッチ本体を借りた。Aさんが自分のソフトでゲームをしようとしたら、ソフトが壊れてしまった。次の日、AさんはBさんに言った。

A「お前のスイッチのせいで俺のマリオが壊れてしまった。俺のマリオを弁償してほしい。」

B「何だよ。マリオが壊れたくらいで。たいしたことないじゃないかよ。」

A「クリスマスプレゼントで親からもらった大事な物なんだぞ。」

B「そんなこと俺には関係ないよ。」

A「この前だって、ドラクエが壊れかけたんだぞ。」

B「どういう意味？俺は一度も壊れたことないよ。俺のスイッチが何をしたっていうんだよ。」

A「ただ、マリオをしようとしただけだよ。お前の持っているものはみんな、メルカリかヤフオクで手に入れた安物なんだろう。みんなもそう言ってるよ。」

B「信じられない。そんなこと言うなんて。お前のスイッチが壊れてたから貸してあげたのに。どうして俺が怒られなくちゃいけないんだ。助けてやったのに。」

A「大した助けだよな。ほら、[ごみ]返してやるよ。」

とAさんは言って、Bさんの机の上に乱暴にスイッチを置いた。スイッチは机から床に落ちて大きな傷がついてしまった。

B「どうしてくれるんだ！新しいスイッチ買ってくれるんだろな。」と大声で怒鳴った。

A「冗談だろ。お前こそ俺のマリオを弁償しろよな。」と大声で言い返した。

①決めつけ ②過剰な一般化 ③矮小化 ④無視 ⑤突き放し ⑥過去の蒸し返し

校種【 A-3 高等学校④ 】

扱う人権課題	性別に関する課題
授業タイトル	“男らしい”・“女らしい” って？そもそも性別とは何だろう？
育てたい 資質・能力	生徒自身が身近に経験したことがある問題を考え、グループ学習を通じ、その解決策を考えていく。
準備物	ワークシート(1枚)、白紙(各グループ2枚)、マジック

時間(分)		活動内容	指導上の留意点 ▼指導上の配慮事項
導入	10	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に「男は〇〇」・「女は〇〇」につながる言葉を考え、ワークシート【問1】に記入し、発表する。【個人ワーク・ペアワーク】 生徒に「男なんだから〇〇」・「女なんだから〇〇」と知っている言葉を考え、ワークシート【問2】に記入後、発表する。【個人ワーク・ペアワーク】 	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの具体例を挙げて、課題を生徒に気づかせるような指導を行う。 なぜそのようなこと考えが自分の中にあるのかを生徒に気づかせ、その理由が何であるのかを意識させる。
展開	35	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の悩み質問【問3】を読み、グループで意見を出し合い、そのアドバイスを紙に記入し、黒板に掲示、発表をする。 マラソン大会での男女の距離が違うことに対して、自分が考える公平な解決法【問4】を、グループで意見を出し合い、まとめる。その後、発表をする。 LGBTに関する話題を取り上げ、“男女”という言葉では簡単にはくることができない人たちがいることを理解する。また、そのような人々に対して、どのように接するのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や社会の中にある無意識の偏見や思い込み、ジェンダーについて気づかせることをねらいとする。 ▼グループの人数は4～5人にする ・【問3】から“私”を女性と勝手に思い込んでいることに気づかせる。 ・生徒たちが一度は感じたことがあるであろう身近なジェンダー問題を取り上げることにより、この問題が社会に多く存在することを気づかせる。 ▼意見がなかなか出ていないグループがある場合は、机間指導の際にヒント等を与える。 ・性的マイノリティに悩んでいる人たちがいることを理解させたい。そのためにも、生徒に「左利きの人」・「血液型がAB型の人」に手を挙げてもらい、その割合がLGBTの割合と同じであることを理解させ、珍しいものではないことにも気づかせる。 ▼自身がLGBTであると公表している有名人などを例に挙げる。
まとめ	5	<ul style="list-style-type: none"> これからの社会は、“男女”という枠組みにとらわれずに生きることが大切であり、そのことが今後の社会を大きく変えるきっかけになることを説明を聞いて、理解する。 ・本時の授業で、自分が考えたこと、大切だと思ったこと、これからの生活に生かしたことなどを振り返りシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、あたりまえだと見過ごしていたもののなかに、おかしいことがあったことに気づき、一人一人が視点や考え方の大切さに気づくことができるようにする。 ・本時の授業を通し、自分の中にある「自分らしさ」を生かし、自分らしく生きることの大切さに気づかせる。

“男らしい”・“女らしい”って？そもそも性別とは何だろう？

年 組 番 氏名

]

問1. あなたが知っている、言われたことがある「男は〇〇」・「女は〇〇」につながる言葉を書いてみましょう。

男は〇〇	女は〇〇
------	------

問2. あなたが知っている、言われたことがある「男なんだから〇〇」・「女なんだから〇〇」につながる言葉を書いてみましょう。

男なんだから〇〇	女なんだから〇〇
----------	----------

問3. 次の文章を読んで、あなたならどのようなアドバイスをしてあげるかを考えてみましょう。

私は保育士です。パートナーはトラックの運転手で毎日仕事が忙しく、一緒に協力してやっていこうと決めたはずの家事、育児などすべて私がやるようになってしまいました。負担を少しでも減らすためには、どのような方法があるでしょうか？

あなたのアドバイスは？

問4. 次の文章を読み、その解決策を考えてみましょう。

〇〇学校では11月にマラソン大会があります。距離はそれぞれ男子15キロ、女子は10キロです。このことに対して、男子からは「なぜ女子より男子の方が距離が長いのか」、女子からは「私だって15キロ走りたい」という意見が出ました。あなたなら男女が公平に感じることができる解決法を考えますか？

あなた・グループの意見

今日の振り返り・感想